独立行政法人 国際協力機構

草の根パートナー型

平成21年度第一次補正予算による草の根技術協力事業　緊急経済危機対応−包括型採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	カンボジア
2. 事業名	クラスタースクール制度の衛星小学校における図書館活動普及事業
3. 事業の背景と必要性	2008年にカンボジア教育省の基本方針であるチャイルドフレンドリースクール制度の計画が公にされ、翌年より本格的に小学校及び中学校における図書館活動が推進され、図書館担当者の育成とそのためのマニュアル作成、普及が急務となっている。そのためJICA草の根技術協力事業の第1、第2期の成果として作成された新図書館活動マニュアルを使用した実践的な研修会の開催が教育省、州教育局より強く要請されている。また、衛星校への図書館活動普及については、2008年から始まったEFA/FTIの計画で、教育の格差是正を目的として僻地衛星校(651校)に対する図書館活動普及事業が始まったが、すべての衛星校を対象とした計画とはなっていない。よって、クラスタースクール制度を活かして、すべての中心校と衛星校を対象にした図書館活動普及のための包括的な取り組みが必要になっており、教育省、州、郡教育局及びクラスター長、校長、図書館員などすべての関係者が協力して、その仕組みを構築しなければならない時期にきている。 対象地域として選定したバンテイミンチェイ州では、第1期事業で同州すべての中心校85校に図書室が開設され、図書館活動が実施されるようになり、事業で育成した州教育局の図書館担当者が、現行事業（第2期）の研修運営実施を補助するなど、事業の発展性がみられるなど、モデル地域となっている。
4. 事業の目的	バンテイミンチェイ州対象2郡において、中心校を活用した図書館活動が行われる
5. 対象地域	バンテイミンチェイ州全郡の中心校86校、対象2郡の衛星校85校
6. 受益者層	クラスター長、中心校の校長、図書館員 衛星校の校長、教員・図書館員（図書館担当者）
7. 活動及び期待される成果	1. BMC州全郡の中心校（86校）で新図書館活動マニュアルが活用される。 （1）新図書館活動マニュアルの説明会として教育省が各州関係者を招聘し、全国研修会を開催(5日間x1回、プノンペン)　（2）中心校を対象とした新図書館マニュアル郡レベル研修会の開催(3日間x1回x4会場)　（3）研修会後のモニタリング、技術指導（全中心校、86校） 2.BMC州対象2郡の衛星校(85校)で、図書館活動を担う人材(校長、図書館担当者)が育成される。 （1）衛星校用のマニュアル、図書・備品など管理リストの作成、図書、本棚配布　（2）対象衛星校の図書館活動研修会（2日間×2回×28会場）を開催　（3）研修会後の衛星校へのモニタリング・技術指導　（4）BMC州でまとめ報告会開催 3.BMC州対象2郡において、図書館活動を中心校から衛星校へ促進する仕組みが構築される。 （1）衛星校用の図書館活動報告書フォームの作成と指導　（2）中心校で衛星校の図書館活動報告、討議、郡及び州教育局へ議事録の提出
8. 実施期間	2010年3月～2012年3月
9. 事業費	3,852千円
10. 事業の実施体制	カンボジア教育省次官を委員長とし、教育省より選出された図書館活動担当委員がBMC州の図書館活動トレーナーと協力して研修、モニタリング、技術指導、報告会を実施する。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	社団法人シャンティ国際ボランティア会
2. 活動内容	教育(学校建設、図書館活動、児童館活動)、文化(絵本出版)、緊急救援